

『心に残る文化財子ども塾』学習指導案

日時:令和5年9月29日(金)

10:20~11:30

場所:浜田市立雲雀丘小学校体育館

対象者:6年生12名

指導者:6年生担任

古代出雲歴史博物館 1名

浜田市教育委員会職員 1名

1. 主題 奈良時代と奈良の大仏

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について、体験的、専門的に学び、その巨大さとともに、そこに込められた先人の思いについて考える。
- ・自分たちの住む地域の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
1. 講師紹介と本時の流れを確認する。(3分)	・担任が担当
2. 奈良時代の浜田市の様子について知る(12分)。 ・下府廃寺について ・土器、瓦などに触れる	・遺物の持ち方は歴博職員が指示する。 ・『ふるさと浜田の歩み』や遺跡の分布地図を活用しながら、視覚的にイメージしやすいようにする。
3. 奈良の大仏が作られた歴史的背景について学ぶ。(10分) ・奈良の大仏に込められた願い ・大仏の製作技術について	
4. 大仏パネルの組み立て体験をする。(25分) ・パネルの組み立ての手順を知る(両横3枚分カット) ・大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ ・1m四方の部品のパネルをパズル形式で組み立て高さ18mの大仏を完成させる	・大仏パネル組み立て時には、靴を脱ぐ。 ・児童が協力して作業できるようにする。 ・完成後に、ステージ上から完成状況を確認。 ・写真撮影をする。
5. まとめ(5分) ・質問や感想を伝える	
6. 片づけ(15分)	・協力してパネルの片付けを行う。次に使用する学校のために、歴博職員の指示通りに片付け・収納する

4. 準備物

- ・小学校:長机、カメラ
- ・講師:大仏パネル、遺物セット、アンケート用紙、説明用パネル

5. その他

- ・9:30 講師の方来校(9:35~準備)